

湯 浅 町  
町 勢 要 覧



# 湯浅町

- 04・05 …… まちの紹介
- 06・07 …… 食のまち湯浅
- 08 …… 歴史のまち湯浅
- 09 …… 防災・福祉
- 10・11 …… 教育・文化・スポーツ
- 12・13 …… 湯浅町の歴史
- 14 …… 湯浅町の未来
- 15 …… 安心・安全のまちづくり
- 16 …… 町長ご挨拶
- 17 …… 湯浅町マップ





# まちの紹介

湯浅町では、神事に基づき歴史の中で脈々と受け継がれてきた「秋まつり」や「七夕まつり」、若者が中心となり開催される「シロウオまつり」「湯浅まつり」「ギョギョっとお魚まつり」などを毎年行っています。祭りは前夜祭から始まるものもあり、町内外からの来場者も多く町全体が賑わいます。

## 湯浅まつり 夏

毎年夏に開催される町民をあげての祭り。花火大会としても定着し、毎年数千発の花火が湯浅広港周辺から打ち上げられ夜空を彩ります。夕刻からは町内の御蔵町から港までの道を湯浅幼稚園の鼓隊パレードや、各団体、企業など老若男女が浴衣姿で湯浅盆踊り唄・湯浅ぞめぎを踊りながら練り歩きます。前夜には、各地区でビアガーデンやカラオケ、屋台などの催しも開催され夏のひとときを楽しみます。



## 七夕まつり 7/7

1601年広川の流路を変更した際、別所の弁天山から水神として弁財天神社を迎え祭祀。毎年7月7日に「ぎおんさん」と呼ばれる祭礼が行われます。七夕の日に行われることから、願い事を書いた短冊をつるした笹を納めにくる参拝客で賑わい、毎年約3000人が訪れます。



## シロウオまつり 春

毎年春に行われる「シロウオまつり」。2月中旬から3月下旬にかけて広川河口で行われている伝統漁法・四つ手網漁で獲れるシロウオを広く知ってもらおうと開催しています。シロウオの踊り食いやシロウオすくいなどが無料で体験でき、特産品の販売なども行われます。



## ギョギョっとお魚まつり 秋

毎年秋頃、アジやサバ、しらすなど湯浅湾で水揚げされる魚介類を町民はじめ県内外の人たちに広く知ってもらうため開催され10年以上にわたり続いています。湯浅湾漁港周辺で行われ、毎年趣向を凝らしたイベントも開催されます。焼き魚や刺身、しらす丼、サバの炊き込みご飯などが販売されるグルメコーナーやフリーマーケット、特産物販売も行われます。アジ君サバ君のキャラクターがお子様人気です。

## 秋まつり 10/15 10/16 10/18~

豊作・豊漁・商売繁盛を祈願する湯浅の秋まつり  
各地域ともオニとワニが獅子を退治する三面獅子舞の奉納に始まり  
神輿渡御が御旅所に到着すると祭礼は終了  
餅撒きでフィナーレを迎えます

### 國津神社【10月15日】

まつり当日は、里と浜の若衆が大小2つの太鼓を乗せた山車を押し、各家々を回ります。午後からは境内で三面獅子舞の奉納が行われ、渡御行列が出発します。三面獅子は、田地区に住む若者たちが代々受け継ぎ伝統を支えています。

### 幸神社【10月16日】

栖原地区の青年団による太鼓や小学生による、三面獅子舞が奉納されると神輿渡御が始まり、御旅所の栖原漁港を目指します。到着すると練まわしを行い祭典がはじまります。漁港での餅撒きでは、鯛も投げられ大いに盛り上がります。

### 顯國神社【10月18日を過ぎた最初の日曜日】

多くの町民がこぞって参加する湯浅の祭礼行事で、有田地方最大の秋まつりとして知られています。各町(組)の神輿や騎馬武者の渡御行列が顯國神社から御旅所である北恵比須神社まで行進し、道中の所々では勇壮な三面獅子舞が披露され、見物客を魅了します。



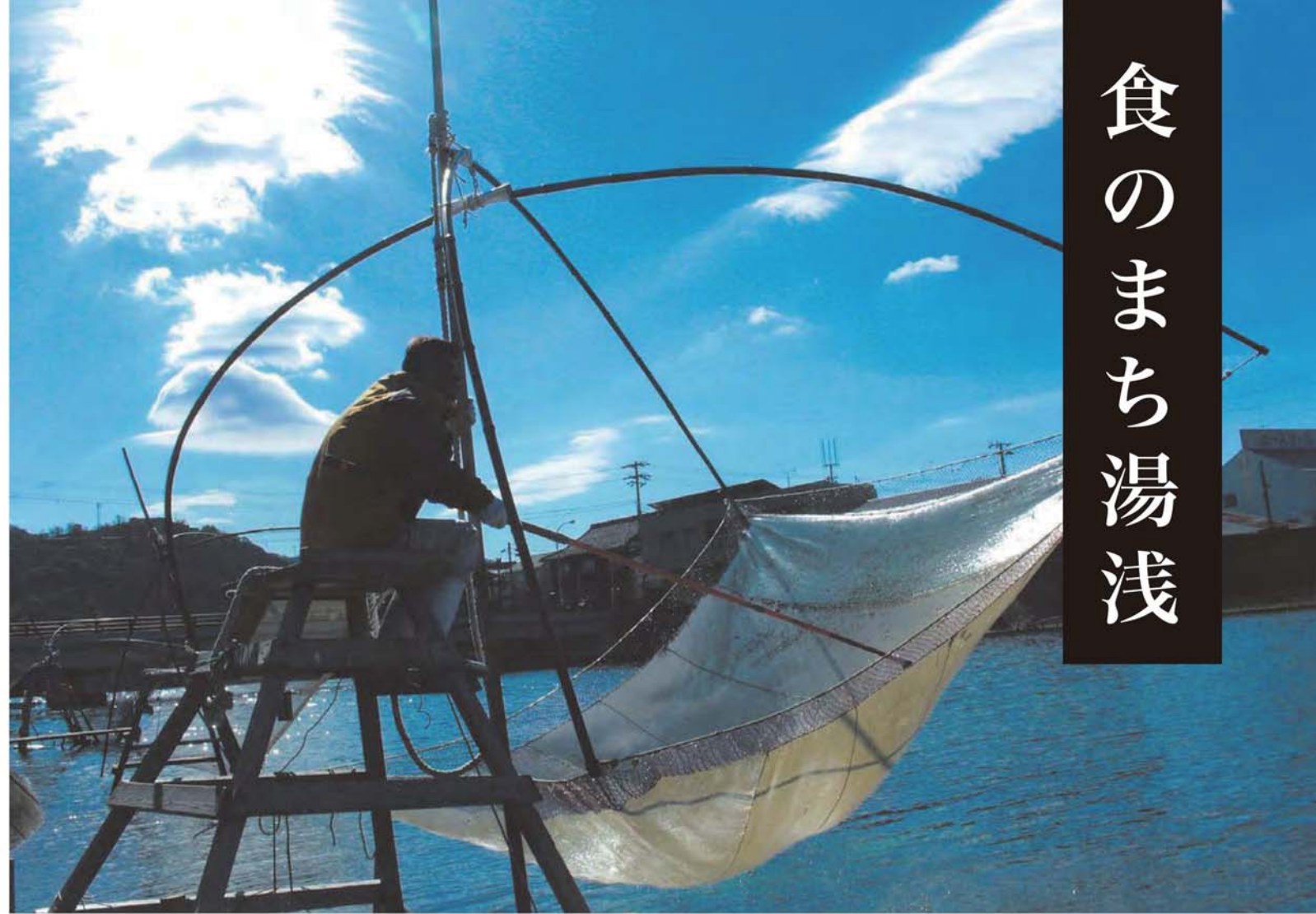
國津神社  
【10月15日】



幸神社  
【10月16日】



顯國神社  
【10月18日~】



柑橘類

燦々と降り注ぐ太陽で温暖な気候の湯浅町は、温州みかんの一大産地です。海が近いこともあり、潮風がミネラルを運ぶことも好条件。それにより、糖度が高く適度な酸味のジューシーなみかんが栽培され、全国に出荷されます。また、三宝柑は栽培する土壌が適していたこともあり、全国でも有数の産地となっています。

しらす

湯浅湾は潮流に恵まれていることから県内有数のしらすの小揚げ量を誇ります。新鮮なしらすを使った「しらす丼」は、わかやまご当地グルメ30選にも選ばれ、町内でも多くの飲食店で「しらす丼」を提供し、普及にも努めています。しらすと相性の良い梅干しや海苔など店ごとに違う彩りがあるので、食べ比べをしてみたいかがでしょう。



シロウオ

湯浅の春の風物詩「シロウオ」。四つ手網という特殊な網ですくいとる伝統漁法が行われている本町では、毎年春に「シロウオまつり」が開催され、各地からシロウオを求めて訪れる観光客も。踊り食いや炊き込みご飯、おすましなど舌で春を感じることができます。



和食を支える

# 将油

その「最初の一滴」

鎌倉時代の禅僧覚心が建長6年(1254)に宋から金山寺味噌の醸造方法を伝え、それからまもなく醤油造りが始まりました。味噌造りをしていくうちに、味噌桶の上部や底に赤褐色の汁が溜まることに気付いた職人が、指先にその汁をつけてなめ、その美味しさに驚きました。湯浅の味噌醸造家は、金山寺味噌造りの傍ら、この赤褐色の汁の研究を続け醤油が生まれました。醤油の最初の一滴は湯浅から始まったのです。

その後、江戸時代には徳川御三家紀州藩の保護を受け、醤油醸造業は大いに栄えました。今では町内で数軒が残るのみとなっていますが、伝統的な製造法はしっかりと受け継がれ、守り続けられています。



# 金山寺味噌

金山寺味噌は、調味料としてではなく、おかずとして食べる味噌です。大豆・麦・麴そして塩を加え、そこに細かく刻んだウリや地元の湯浅なす、紫蘇や生姜など混ぜ合わせて醸造します。8〜10か月熟成してできあがります。その伝統の味と技法には、お店独自のブレンドなどきめ細かな違いがあるので、ぜひ好みの味を見つけてみてください。





# 暮らし

災害発生時において、対策本部が設置される町庁舎や消防庁舎を防災拠点として、関係機関などと連携し、救助等が円滑に行えるようにするなど、来るべき震災への備えを十分に進めています。また、救急・休日医療体制の充実といった誰もが安心して安全に住民生活を送ることのできるまちづくりを進めています。

## 01. 防災・福祉



防災

### 災害に強いまちづくりを目指して

今後発生が予想される南海トラフ巨大地震等に対応するため、町内すべての小中学校や湯浅スポーツセンターなどの建替えや耐震改修、町庁舎及び湯浅広川消防組合等の高台移転を行いました。また、道路や一時避難場所への誘導灯設置や避難路の改修も実施するなど、町民の生命と財産を守る安心安全のまちづくりを進めています。



福祉

### 社会福祉の充実

子どもを安心して産み育てることができるよう妊娠、出産、育児にわたる切れ目のない支援を図るなど、子育て環境の向上に努めています。また、すべての町民が健康に生活を送れるよう、健康づくりの推進や、各種健診の充実を図るとともに障がい者の自立や社会参加を支援するため、各種保健・福祉サービスを総合的に支援しています。



# 歴史のまち湯浅

## 重要伝統的建造物群保存地区

醤油醸造の町を  
象徴する町並み

旧市街地の北西に位置し、北町・鍛冶町・中町・濱町を中心とする醤油醸造業が盛んに行われていた一帯には近世から近代にかけての伝統的な建造物が今も数多く残っています。平成18年には国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、全国各地より町並み散策の観光客が訪れます。



# 熊野古道

仏教の隆盛とともに、熊野三山が人々の信仰を集めるようになり、熊野へのお参りの道として利用されたものが熊野参詣道です。海側のルートである紀伊路が通る湯浅は、熊野参詣の際、宿泊地として利用されていました。その様子は、後鳥羽上皇の熊野参詣に随行した藤原定家の「熊野御幸記」にも記されています。

### 逆川王子

糸我峠を下りきったところにある逆川王子は、熊野九十九王子のひとつで、現在は逆川神社と称し神事などが行われています。熊野参詣の巡礼地のひとつであるとともに、地域の信仰の拠り所としても大切に守られています。

### 久米崎王子

逆川王子から南へ進み、湯浅市街地を越えた別所のあるのが久米崎王子の跡地です。現在は昭和39年(1964)に建てられた王子跡を示す石碑のみが残っています。

### 道町の立石道標

中世後期以降の熊野街道は湯浅で市街地を通過していました。街道沿いの道町にある道標は、天保9年(1838)に建立され、北面に「すぐ(=まっすぐ)熊野道」南面に「いせかうや(伊勢高野)」東面に「きみみ(紀三井寺)」と刻まれています。



## 02. 教育・文化・スポーツ

町民の体力向上や健康寿命の延伸を願い、1年を通じてスポーツイベントを行っています。スポーツや文化活動において支援を行っているほか、小学校の授業では、ふるさとに愛着が持てるよう醤油づくりを行うなど湯浅町ならではの取り組みを進めています。長い歴史と伝統に培われた歴史的遺産、熊野街道の宿場として栄えた湯浅町の歴史や、湯浅姓の由来など郷土の歴史を知る歴史講座も行っていきます。



湯浅中学校



湯浅小学校

子どもたちの安心・安全な学びのためすべての町立学校の耐震化を行いました。中でも湯浅小学校と湯浅中学校は2011年度に新たな校舎に建替えました。その他、湯浅中学校プール、田栖川小学校プールの改築等、児童・生徒のより良い学びの環境整備に努めています。

### 学び

よりよい環境  
子どもたちの安心安全  
明るい未来を願って

### 文化

ふるさと湯浅への理解を深め、  
郷土愛を育む取り組み

本町は、醤油醸造で栄えた町並みが「重要伝統的建造物群保存地区」、そこで今も続く醤油造りが「歴史的風致」、それらを語るストーリーが「日本遺産」にそれぞれ単独で認定されている全国的に非常に珍しいまちです。湯浅ならではの文化を学ぶため、町内の小学校では、湯浅を発祥とする醤油を手作りする授業を行っています。

### 「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅

日本人の味覚に染みわたる繊細で深い味わいと芳しい香りを持つ醤油。紀伊半島西岸、紀州湯浅の地で、産業としての醤油造りが産声を上げた。仕込桶の中で醸成され、零れ落ちた最初の一滴は、やがて水面に広がる波紋のように日本中に広まり愛用され、私たち日本人の豊かな食文化の根幹を担い、今日では「醤油 // Soy sauce (ソイソース)」は、世界の人々に和食の文化と共に認められている。



醤油仕込蔵



日本遺産認定セレモニー



世界に1つだけのマイ醤油



手作り醤油を絞って



絞った醤油を瓶詰め

醤油づくり  
地元の醤油産業に携わる方を講師に招き、小学校では授業として「醤油づくり」を行っています。子どもたちは、醸造に至るまでを行い、世界に1つだけのマイ醤油づくりを行います。歴史を学び、製造工程に触れることで醤油をより身近に感じ、郷土を愛する心を育てます。

### スポーツ

健康寿命の延伸で生涯現役  
心も体も元気いっぱい  
スポーツで笑顔が溢れる町

毎年春に行われるハイキングや、マラソン大会、バドミントン、ソフトバレー等各種スポーツ教室、ゲートボール等親睦スポーツ大会の開催など、生涯を通じた豊かなスポーツ活動に取り組んでいます。2015年に開催された紀の国わかやま国体・わかやま大会では、本町のなぎの里球場において正式競技の軟式野球、湯浅スポーツセンターにおいてデモンストレーションスポーツのスポーツ吹矢競技が行われました。



ハイキング



マラソン大会



国体軟式野球競技



国体スポーツ吹矢競技

### スポーツ施設

体育館は「湯浅スポーツセンター」「町民体育館」「田体育館」、体育施設としては、「なぎの里球場」「町民グラウンド」「町民多目的広場」「テニスコート」「ゲートボール場兼多目的スポーツ施設」があります。また、町営のプールは「町民プール」と「宝栄水泳プール」があります。



# 湯浅町歴史

1889年	6月	現在の大字湯浅・別所・青木・山田で湯浅村を編成、田・栖原・吉川で田栖川村を編成
1896年	6月	和歌山、新宮、田辺等に次いで県下でも比較的早く湯浅村が町制を施行
1911年	2月	それまで深専寺境内にあった有田郡役所が新設
1915年	5月	湯浅の海岸駅から金屋口まで有田鉄道開業
1927年	8月	国鉄紀勢線紀伊湯浅駅開業
1936年	7月	町民希望の湯浅小学校講堂完成 全学童の1銭預金実行
1946年	12月	昭和南海地震発生、津波による浸水被害が甚大
1956年	3月	湯浅町と田栖川村が合併、現在の湯浅町が誕生
1961年	6月	郡役所跡に町庁舎完成、中町の庁舎から移転
1965年	7月	湯浅湾の北浜の埋立完成
1977年	4月	南浜埋立が完成、大相撲が開催される
1996年	6月	湯浅町制施行100周年
2006年	12月	湯浅の醤油醸造の町並、 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定
2007年	10月	第1回全国醤油サミットin しょうゆのふる里「ゆあさ」を開催
2011年	3月	湯浅中学校・湯浅小学校校舎建替え、田村小学校、 田栖川小学校、山田小学校の耐震補強
2015年	4月	田保育所園舎、建替え移転
2015年	5月	湯浅町庁舎、建替え移転
2016年	3月	国体デモンストレーションとして 湯浅スポーツセンターでスポーツ吹矢競技を行う
2016年	10月	天皇・皇后両陛下湯浅町庁舎に行幸啓 紀の国わかやま国体開催
2016年	6月	紀の国わかやま国体、軟式野球競技会が なぎの里球場で行われる
2017年	7月	醤油醸造やみかん栽培といった湯浅固有の風情・ 情緒・佇まいといった良好な環境を維持・向上 させる「湯浅町歴史的风致維持向上計画」が 国の認定を受ける
2017年	12月	湯浅町制施行120周年記念式典を挙げる
2017年	4月	「出張！なんでも鑑定団 in湯浅」公開収録を 湯浅スポーツセンターで開催
2017年	7月	第40回湯浅まつり花火大会 ゆあさサマーフェスタ開催
2017年	12月	重要伝統的建造物群保存地区 選定10周年記念式典を挙げる
2017年	4月	醤油醸造文化発信による地域活性化を推進する シンポジウムを東京よみうり大手町ホールで開催
2017年	4月	「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地紀州湯浅が 日本遺産に認定される



出張！なんでも鑑定団 in 湯浅



湯浅中学校校舎



大相撲開催



湯浅町・田栖川村合併祝賀



有田郡会議事堂



シンポジウム



重要伝統的建造物群保存地区選定10周年記念式典



湯浅町庁舎



湯浅町・田栖川村合併祝賀行列



有田鉄道 湯浅駅



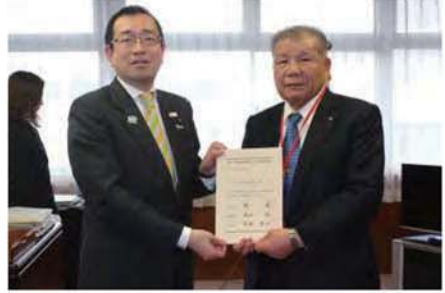
紀伊湯浅駅



日本遺産認定証交付の様子



湯浅町制施行120周年記念式典



湯浅町歴史的风致維持向上計画 認定証交付の様子



湯浅町旧庁舎



湯浅小学校講堂





# 湯浅町 未来

私は、湯浅町の  
みんながこれからも  
笑顔でいられる  
町であってほしいです。

だれでも楽しめる  
遊園地をつくって、  
評判が良い有名な町  
になってほしい。

湯浅町が  
今よりもたくさんの  
やさしい人がいる町に  
なってほしい。

安心して買い物  
できる店があって  
おいしい食べ物  
がある町。

古きよき街並を  
大事にもっと湯浅らしい  
ものをアピールしてほしい

今の湯浅町をさらに  
明るく“活気のある”  
まぼらしい  
町になってほしい！

プロ野球の試合  
が開ける球場がある  
町になってほしい。

今の湯浅町の伝建地区  
のように、昔の町なみが  
残っていて、歴史のある、  
平和な町であってほしい。

笑顔のおふれる  
いい職場が  
ある町

子どもが多くて  
活気におふれた  
町になってほしい

湯浅町が今よりも、  
交通事故が  
少ない町に  
なってほしいです。

動物とふれあえて  
1人1人が  
笑顔におふれる町

みんなが働ける工場が  
あり、自然豊かな  
町になってほしい。

今の湯浅町は老人が多く  
わかい人がどんどんへって  
いくので僕が大人になったと  
きはわかい人もいっぱいいる町に  
なってほしい。

「湯浅醤油が世界のお店  
で売られて欲しいです！」  
今までより醤油の発祥地として  
有名になる事を願っています。

親切な人ばかりでみんなが  
明るく楽しくて、住んでよかった  
と思う町になってほしい

## 笑顔と

あいさつが  
あふれる町

山や海など豊かな自然を活かして  
観光客がいっぱい  
来る町になってほしい。

みかんやびわや  
醤油のにおいがする  
今のままの湯浅がいいです。  
そんな湯浅が、  
大好きです。

果実の育ちやすい山、  
いろんな魚がいる海  
にして田村のいろんな  
産物を発展させ観光客  
がいっぱい来るように  
したいです！！

きれいな山や海など  
豊かな自然とふれあっ  
て遊べる町になってほしい。

自然で楽しむため  
に、観光客がいっ  
ぱい来てくれる町  
になってほしい。

季節ごとの花  
が咲き笑顔が広  
がる町になってほしい

伝建地区などの  
昔ながらの部分と  
商業などの新しい部分を  
交えた町になって  
ほしい。

観光客が増える  
ようにもっと観光地を  
増やしてほしい。

これからも伝建地区  
や、湯浅の伝統を  
大切に守っていく町  
になってほしい。

田村に介護施設  
をつくって欲しい！  
田村のおじいちゃんおばあちゃん  
に地元で楽しい暮らしを  
してほしい！！

誰もが安心して安全に暮らせる  
住みよいまちの実現

## 安心・安全のまちづくり

―さまざまな課題をひとつひとつ解決し、  
魅力あふれる湯浅町を創造―

本町は、全国で唯一の醤油醸造町として選定を受けた重要伝統  
的建造物群保存地区や湯浅固有の風情・情緒・佇まいなど、歴史  
や文化の魅力が溢れています。

さらに、良好な自然環境に恵まれた本町では、全国的に有名な  
有田みかんや新鮮な魚介類など特産物が豊富にあります。

こうした本町ならではの魅力を活かした観光振興を積極的  
に推進するとともに、JR湯浅駅周辺の整備を進めることで、  
まちの賑わいを創出していきます。

湯浅町は魅力的な町、住みよい町、笑顔溢れる町…  
住まれる人々、訪れる人々にとって安心安全で快適なまちとし  
て、これからも輝き続けます。



# 湯浅町 マップ



平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓として、災害発生時において、町民の皆様生命と財産を守る「安心安全のまちづくり」の司令塔の役割を果たすため、平成27年に町庁舎がそれまでの駅前から青木区に移転しました。また、紀の国わかやま国体にあわせて、天皇皇后両陛下が本県にお越しになられ、新しくなった庁舎でご休憩されるなど、本町にとって大変名誉なことでした。



さて、昨年は、湯浅町制施行120周年をはじめ重要伝統的建造物群保存地区選定10周年、第40回湯浅まつり花火大会、歴史的風致維持向上計画が国からの認定を受けるなど、本町にとって節目の年でありました。記念式典の開催や「出張!なんでも鑑定団in湯浅」の公開収録といった住民の皆様にご喜んでいただける様々な記念事業に取り組むことで、活力溢れる未来へ新たな一歩を踏み出しました。

現在、本町では、持続的に発展・成長し続けるまちを目指して、今年4月に認定された「日本遺産」を活用した地方創生を推進しています。湯浅町版総合戦略に掲げる「将来もずっと元気ある湯浅町の創生」に向け、「安定した雇用の創出」「本町への新しい人の流れ」「出生率の向上」「安心安全な暮らしの実現」を基本目標に、希望を生み出す強い経済の実現や夢を紡ぐ子育て支援などに力を入れてまいりたいと考えています。

本町がさらに輝きを増していけるよう、まちづくりを一步一步着実に進めるためには、本町の状況を把握することが必要です。そのため、本町の魅力的な歴史・文化や産業、行事、暮らし、自然などをとりまとめることとしました。

この冊子を手にとっていただき、ふるさと湯浅について一層の理解を深め、愛着をもっていただければ幸いです。

平成29年7月

湯浅町長 上山章善





発行：湯浅町

〒643-0002 和歌山県有田郡湯浅町青木 668 番地 1

TEL.0737-63-2525

FAX.0737-63-3791